

平成29年度 第4回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日 時 平成30年3月27日（火）13時30分～15時00分
- 場 所 弘前地区環境整備センター 管理棟3階会議室
- 出席者 内山委員、安東委員、齋藤（桂）委員、葛西委員、齋藤（安）委員、三橋委員、椛澤委員、佐藤委員、小田桐委員、木村委員
- 欠席者 高野委員、齋藤（正）委員、田澤委員、森山委員
（委員14名のうち10名出席）
- 事務局 柳田都市環境部長、秋元環境管理課長、丸岡環境管理課長補佐、西沢課長補佐、菊地主幹兼廃棄物政策係長、田沢主幹兼環境事業係長、成田（貴）廃棄物政策係主査、成田（一）廃棄物政策係主査、竹谷廃棄物政策係主査、田中環境保全係主査、齋藤廃棄物政策係主事、成田資源循環係主事

○内 容

1 開 会（進行：丸岡環境管理課長補佐）

2 部長挨拶

3 会 議（進行：内山会長）

（1）【案件1】平成29年度廃棄物施策の実施状況について

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

※意見・質問等なし

（2）【案件2】平成30年度一般廃棄物処理実施計画について

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

※意見・質問等なし

（3）【案件3】平成30年度廃棄物施策について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

意見・質問等

- ・家庭系ごみの施策は色々と実施しており、指定袋も始まれば家庭系ごみの目標は達成できると思うが、今後事業系ごみの古紙類の搬入規制をした以降の施策が必要になると感じる。

- ・ごみ減量化・資源化啓発広報誌「ごみ減量魂」は継続して作成するのか。
→作成する。
- ・テレビ広報や作成した広報誌は、市ホームページで閲覧できるのか。
→広報誌は市ホームページに掲載している。

(4) 【案件4】 家庭系ごみ指定袋制度について

⇒【資料4-1】【資料4-2】【資料4-3】について事務局から説明を行った。

意見・質問等

- ・不法投棄が増えるのではないかと。
→不法投棄が増えるというデータはないが、そのような常習地帯がある場合は、キャンペーンなどを展開して、不法投棄などを寄せ付けない環境づくりに努める。
- ・販売されるごみ袋の枚数は決まっているのか。
→10枚単位での販売が望ましい。消費者のニーズによって、大容量パックの販売も見込まれる。
- ・同じ数字が記載された袋があるときはどうするのか。
→地番や部屋番号など、重複するものも出てくることは予想されるが、それだけで個人を特定するという趣旨ではない。あくまでも集積所などにおけるトラブル発生時に解決するための一つの手掛かりとして記載をお願いするものである。
- ・ごみ袋の記入欄に記入しない場合はどうなるのか。
→残すことで町会の方々に労力が掛かってしまうため、記入していなくても分別がきちんとなされていればごみの収集自体は行う。記入を義務付けないなら意味がないという声が寄せられるが、記入してあるごみ袋が少しでもあることでその分特定がスムーズになるという効果がある。

(5) 【案件5】 その他

⇒次回の審議会は7月上旬を目途に開催する旨の連絡をした。

⇒人事異動者が挨拶を行った。

(6) 総括（進行：内山会長）

- ・特になし

4 閉 会（進行：丸岡環境管理課長補佐）

○資 料

- ・【資料 1】平成 29 年度廃棄物施策の実施状況について
- ・【資料 2】平成 30 年度一般廃棄物処理実施計画
- ・【資料 3】平成 30 年度廃棄物施策について
- ・【資料 4 - 1】「家庭系ごみ指定袋制度」の導入に関するスケジュール
- ・【資料 4 - 2】記入欄への記入ルール
- ・【資料 4 - 3】制度周知看板イメージ

○公開・非公開の区分 「公開」